

Q15

家庭や地域社会との連携による道德教育を進めるには、どのようにすればよいのですか。

－ポイント15－

- 家庭や地域社会との協力体制を作る
- 多様な連携の在り方を創意工夫する

1 家庭や地域社会との協力体制

主に学校が中心となる連携

- 道德教育の意義の啓発
 - ・ 家庭教育や地域での教育が大切なことを訴え、学校と連携していくことの重要性を啓発する
- 日頃の交流の充実
 - ・ 積極的な授業公開や広報活動、定期的な相互交流を図る

主に家庭や地域社会が中心となる連携

- 地域社会における伝統行事などとの関連を図って、学校が支援する側に回るような取組
 - ・ 学校と家庭が一体となって、地域の行事に参加する
- 三者がそれぞれの機能を融合的に発揮する取組
 - ・ 学校の施設を活用して地域の行事を企画し、その運営に児童会（生徒会）やPTA、地域の企業などが主体的、組織的に関わるような取組を進める

2 多様な連携の創意工夫

家庭や地域社会との共通理解を深める工夫

- 方針や様子を伝え要望を聞く
 - ・ 学校通信やホームページ等で学校の道德教育の方針や児童生徒の様子などを伝えるとともに、保護者会などで相互に意見交流を図る
- 道德の時間の授業を公開する
 - ・ 授業公開の方法や形態を多様に工夫し、多くの参観を得るようにする。

道德の時間への積極的な参加や協力を得る工夫

- 授業において保護者や地域の人々の協力を得る
 - ・ アンケートや児童生徒への手紙等の協力による参加、地域の人にゲストティーチャーとして実体験に基づいた話をしてもらう等の工夫をする。
- 地域教材の開発や活用において協力を得る
 - ・ 地域の自然や文化等を題材とした教材を開発する際、それらのことに造詣の深い地域の人々の協力を得たり、資料を提示するときに協力を得たりする

家庭や地域社会との交流を深め、連携を図った道德教育を推進しましょう。